

# 県営住宅（小沢団地）A～G棟他 照明設備その他改修工事

図面番号	図 面 名 称	備 考
E - 0 0	図面タイトル ・ リスト	
E - 0 1	電気設備工事特記仕様書（改修）	
E - 0 2	案内図・配置図	
E - 0 3	参考照明器具姿図	
E - 0 4	撤去・改修 住戸詳細図	
E - 0 5	撤去・改修 住戸照明整理表	
E - 0 6	撤去・改修 集会場平面図	
E - 0 7	住宅用火災警報器取替箇所リスト・機器仕様	
E - 0 8	ストロボライト付補助警報装置系統図（参考）	

令和 7 年 1 2 月

藤本電気設計 株式会社

県営住宅（小沢団地）A～G棟他照明設備その他改修工事 特記仕様書					
・工事概要					
1．工事場所 弘前市大字桜ヶ丘4丁目外 地内					
2．建物概要					
建物名称	構 造	階 数	建築基準法による延べ面積(m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第一の区分	施設の種類
小沢団地		地上 地下		5項（ロ）	一般の施設
小沢団地集会場	木造	1階		1項（ロ）	一般の施設
3．工事種目（ 印の付いたものを適用する。）					
建物及び屋外	工 事 種 別				備 考
工事種目	共同住宅	集会場		外 灯	
電灯設備	改設一式	改設一式			
動力設備					
電気自動車充電設備					
電熱設備					
雷保護設備					
○ 受変電設備					
電力貯蔵設備					
○ 発電設備					
構内情報通信網設備					
構内交換設備					
情報表示設備					
映像・音響設備					
拡声設備					
誘導支援設備					
テレビ共同受信設備					
監視カメラ設備					
駐車場管制設備					
防犯・入退室管理設備					
住宅用火災警報器	改設一式				
中央監視制御設備					
構内配電線路				改設一式	
構内通信線路					
4．指定部分 なしあり 範囲： 工期：令和 年 月 日					
・工事仕様					
1．共通仕様 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、 印が付いたものを適用する。 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。） 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。） 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）					
2．特記仕様 特記事項は、 印の付いたものを適用する。 印の付かない場合は、 印の付いたものを適用する。 印と 印の付いた場合は、共に適用する。					
章	項 目	特 記 事 項			
一般共通事項	1．適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 風圧力（ $V=34$ ） 風速（ $V=34$ ） 地表面粗度区分（） 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域別表（）			
	2．電気工事士	最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。			
	3．環境への配慮	（1）本工事中において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和5年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。  （2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の から を満たすものとする。 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。			

4. 機材の品質等	(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。																																																										
	(2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の から すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の手承を受ける。 ただし、次の から すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の手承を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 安定的な供給が可能であること。 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 販売、保守等の営業体制を整えていること。																																																										
	<table><tr><th>機 材 名</th><th>製造業者等名</th></tr><tr><td>LED照明器具（一般屋内用に限る。）</td><td rowspan="17"></td></tr><tr><td>照明制御装置</td></tr><tr><td>可変速運転用インバータ装置</td></tr><tr><td>分電盤</td></tr><tr><td>制御盤</td></tr><tr><td>キュービクル式配電盤</td></tr><tr><td>高圧スイッチギア（C形）</td></tr><tr><td>高圧スイッチギア（P形）</td></tr><tr><td>高圧交流遮断器</td></tr><tr><td>高圧変圧器（特定機器）</td></tr><tr><td>高圧連相コンデンサ</td></tr><tr><td>高圧限流ヒューズ</td></tr><tr><td>高圧負荷開閉器</td></tr><tr><td>交流無停電電源装置（常時インバータ給電方式（備用型）を除く。）</td></tr><tr><td>太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）</td></tr><tr><td>監視カメラ装置</td></tr><tr><td>中央監視制御（監視制御装置）</td></tr></table>	機 材 名	製造業者等名	LED照明器具（一般屋内用に限る。）		照明制御装置	可変速運転用インバータ装置	分電盤	制御盤	キュービクル式配電盤	高圧スイッチギア（C形）	高圧スイッチギア（P形）	高圧交流遮断器	高圧変圧器（特定機器）	高圧連相コンデンサ	高圧限流ヒューズ	高圧負荷開閉器	交流無停電電源装置（常時インバータ給電方式（備用型）を除く。）	太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）	監視カメラ装置	中央監視制御（監視制御装置）																																						
機 材 名	製造業者等名																																																										
LED照明器具（一般屋内用に限る。）																																																											
照明制御装置																																																											
可変速運転用インバータ装置																																																											
分電盤																																																											
制御盤																																																											
キュービクル式配電盤																																																											
高圧スイッチギア（C形）																																																											
高圧スイッチギア（P形）																																																											
高圧交流遮断器																																																											
高圧変圧器（特定機器）																																																											
高圧連相コンデンサ																																																											
高圧限流ヒューズ																																																											
高圧負荷開閉器																																																											
交流無停電電源装置（常時インバータ給電方式（備用型）を除く。）																																																											
太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）																																																											
監視カメラ装置																																																											
中央監視制御（監視制御装置）																																																											
5. 他工事との取合い	施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。																																																										
6. 耐震施工	(1) 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」 （独立行政法人建築研究所監修）により、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。 ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。 設計用水平地震力 機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。 設計用標準水平震度																																																										
	<table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階 屋上 及び塔屋</td><td>機器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>機器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地階・1階</td><td>機器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table>		機器種別	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上 及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
	機器種別			特定の施設		一般の施設																																																					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上層階 屋上 及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。 ・水槽類には燃料小タンクを含む。 ・重要機器は次のものを示す。 ○ 配電盤 ○ 発電装置（防災用） ○ 直流電源装置 交流無停電電源装置 交換装置 自動火災報知受信機 中央監視制御装置 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 地域係数 1.0 0.9																																																										
	(2) 横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。																																																										
7. 7.2A'に含まる製品調査	イ) 撤去機器、器具等についてアスベスト含有製品調査を行い、監督職員に報告する。 調査範囲( ) 調査方法(○型番確認の、製造者より) ロ) 下記の7.2A'に含まる製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。 なお、調査にかかる費用は、 本工事 別途 とする。																																																										
8. 足場その他	別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。 本工事で設置する。 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。  内部足場 種別 脚立、足場板等 外部足場 種別 A種 B種 C種 D種 E種 防護シート 設置する。 設置しない。  材料、撤去材等の運搬方法（建築工事編2.2.1 表2.2.1による。） 種別 A種 B種 C種 D種 E種 仮設置仕切り 種別 A種 B種 C種 既設部分の養生 行う ( ビニルシート等 ) 行わない																																																										

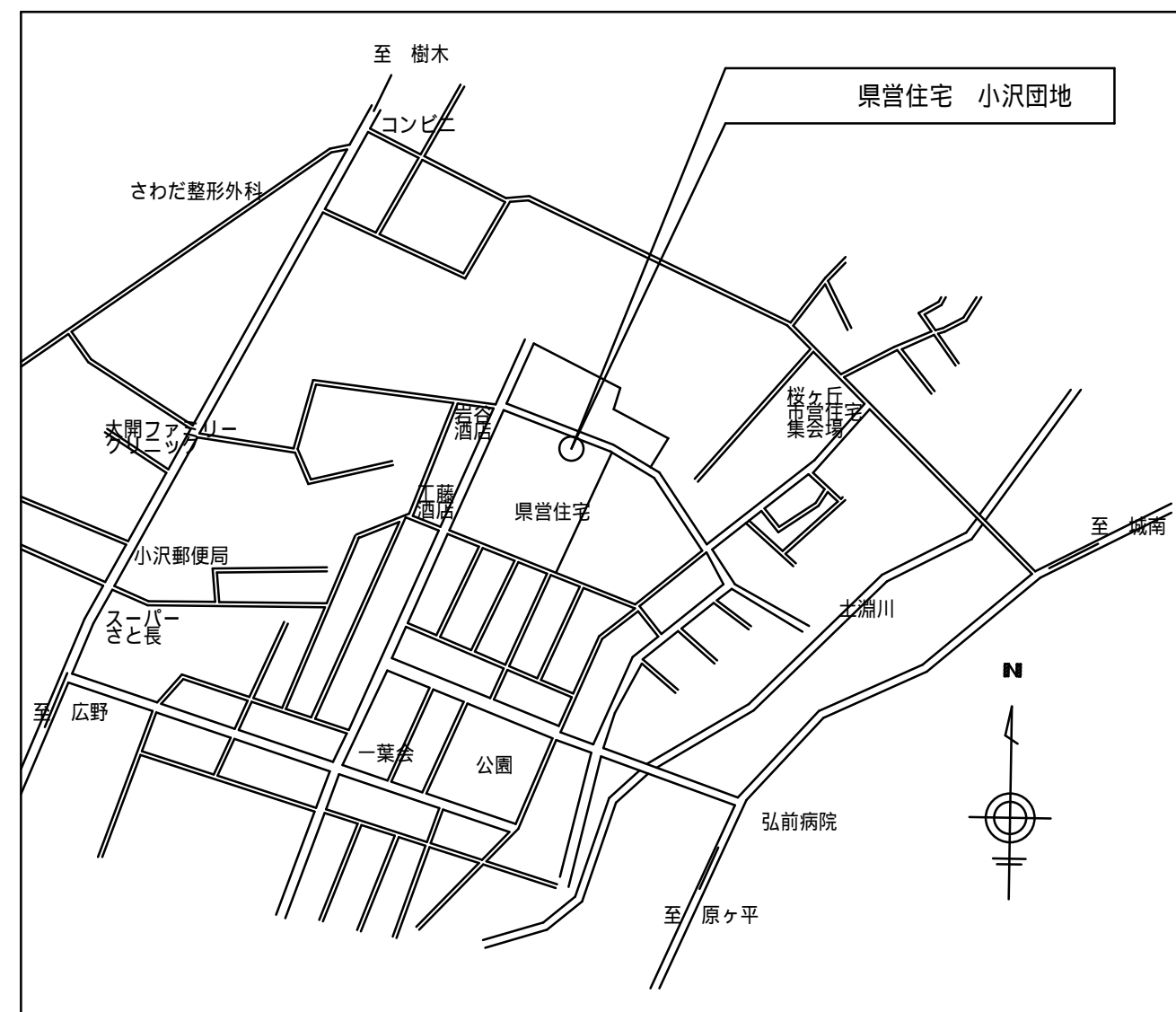
一般共通事項	9．電源周波数	50Hz はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。 イ）放射線透過検査等による埋設物の調査 ロ）範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。 イ）あと施工アンカー 接着系アンカー（ 接着剤（有機系）） 金属拡張系アンカー（ 本体打込み式 ） ロ）試 験 性能確認試験 行う 行わない 施工後確認試験 行う 行わない 機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は既存仕上げと同等の補修とする。 施工に際し既存設備、施設等に損害を及ぼした場合は、原状に復旧する。 イ）屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）は溶融亜鉛めっき製またはステンレス製（SUS304）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 ロ）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。 下記盤類の改修等は、製造者等による作業とする。 分電盤 制御盤 ○ 受変電盤 盤類の改修前と改修後に関連する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。 盤類の工事後に、単線結線図の更新を行う。 各機器の個別運転後に下記の設備について総合動作試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。 照明制御装置 ○ 受変電設備 電力貯蔵設備 発電設備 駐車場管制設備 防犯・入退室管理設備 中央監視制御設備 新設する電線類は、図面に「EM-」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。 EM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V架橋ポリエチレンケーブル（3層押出型）」によるものとする。 屋外、及び地下ピットで使用する厚銅電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき（めっき付着量300g/m <sup>2</sup> 以上）」仕上げとする。 合成樹脂製可とう管はP管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-2とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次開閉の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。 床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。 金属製（ステンレス、新金属も含む） 樹脂製 アルミ製 銅合金製 水平調整付プレート（空転防止リング付）とする。 図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。
	10．接地極の種類及び位置表示	○ キュービクル、分電盤、制御盤等のキャビネットの仕上げ 製造者の標準仕上げとする。 ○ 下記部位に取付けるものは、指定色仕上げとし、それ以外は製造者の標準仕上げとする。 屋外 ○ 屋内（○キュービクル） 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。（ 居室 ） 図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。 外部に面する壁、天井で建築工事でFP版（スタイロフォーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。 長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-IE電線を挿入する。 計上する（想定契約電力 kw、想定期間 ヶ月間） ○ 計上しない ネーム付きとする。 アルミ製 樹脂製 特記の無いアルミ製は「次の仕様とする。 2P15A（接地極打抜き形）×4-JD3m（R）付付）通電表示灯付 照明の点検用照明を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。 材質：亚克力 文字：印刷文字 寸法：W=180mm程度、H=50mm程度 参考文例：「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」 注意プレート設置室： 便所（計 枚）○ 廊下（計 枚） 天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンレシーの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。 ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。 LED照明器具 LED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形（LN）」とする。 一般照明の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。 明るさセンサが設置される部屋は、センサ1個につき1箇所以上 ○明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で計 箇所以上 本工事で設置する照明器具（局所照明器具除く）の照度測定を行うこと 非常用の照明装置の照度測定箇所は、工事全体で計 箇所以上とし、監督職員に報告する。 非常用の照明装置の照度測定箇所は、監督員と協議とする。 分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ（100V2P1E、200V2P2E）とする。 埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合（PF2.2）を2本、5個以上の場合（PF2.2）を2本、天井まで立上げる。 配管ボンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。
	11．撤去跡の補修	

表1「接地極一覧表」			
接地極の種類は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。			
接地極の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
富保護用接地	E1A	以下	E P x 2
富保護用接地	E1A	以下	E B (D = 14又はW = 40) x 3連 - 組
共同接地	E1A E1H	10以下	E B (D = 14又はW = 40) x 3連 - 2組
共同接地	E1A E1C E1D	10以下	E B (D = 14又はW = 40) x 3連 - 2組
A種接地	E1A	10以下	E B (D = 14又はW = 40) x 3連 - 2組
B種接地	E1B	以下	E B (D = 14又はW = 40) x 2
C種接地	E1C	以下	E B (D = 14又はW = 40) x 1
D種接地	E1D	10以下	E B (D = 14又はW = 40) x 3連 - 2組
漏れ電流検出回路用接地極(埋設用)	E1L	5.0以下	E B (D = 14又はW = 40) x 1
漏れ電流検出回路用接地極(埋設用)	E1L	10以下	E B (D = 14又はW = 40) x 3連 - 2組
漏れ電流検出回路用接地極(埋設用)	E1t	10以下	E B (D = 14又はW = 40) x 3連 - 2組
電話機用保安装置	E1t	10以下	E B (D = 14又はW = 40) x 1
アンテナ用保安装置	E1t	10以下	E B (D = 14又はW = 40) x 1
電圧増幅器用	E1t	10以下	E B (D = 14又はW = 40) x 1
防火装置用	E1s	以下	E B (D = 14又はW = 40) x 3連 - 組
測定用補助接地極(埋設用)	E1o	以下	E B (D = 10又はW = 30) x 1
測定用補助接地極(埋設用)	E1L	10以下	E B (D = 14又はW = 40) x 3連 - 2組
測定用補助接地極(埋設用)	E1H	10以下	E B (D = 14又はW = 40) x 3連 - 2組
測定用補助接地極(埋設用)	E1D	10以下	E B (D = 14又はW = 40) x 1

表2「機器取付高さ」					
機器	測点	取付高(mm)			
共通	精算用計器	地上 ~ 窓中心	1,800 ~ 2,000		
	引込開閉器	床上 ~ 中心	1,800 ~ 2,200		
	分電盤	床上 ~ 中心	1,500 (上限1,900以下)		
	1x1φ(一般)	床上 ~ 中心	1,300		
	1x1φ(自動ドア)	床上 ~ 中心	1,300		
	1x1φ(和室)	床上 ~ 中心	1,200		
	2x2φ(一般)	床上 ~ 中心	300		
	2x2φ(和室)	床上 ~ 中心	150		
	2x2φ(台上)	台上 ~ 中心	150 ~ 200		
	2x2φ(厨房)	床上 ~ 中心	800 ~ 1,000		
	2x2φ(車庫)	床上 ~ 中心	1,300		
	2x2φ(機械室)	床上 ~ 中心	500 ~ 1,000		
	2x2φ(屋外)	地上 ~ 中心	1,000 ~ 1,300		
	2x2φ(一般)	床上 ~ 中心	2,100 ~ 2,300		
	2x2φ(通風)	床上 ~ 中心	2,000 ~ 2,500		
電	2x2φ(鏡上)	鏡上 ~ 中心	150		
	壁掛形制御盤	床上 ~ 中心	1,500 (上限1,900以下)		
	開閉器箱	床上 ~ 中心	1,500		
	制御用端子箱	床上 ~ 中心	1,300		
	計装用接地端子箱	床上 ~ 下端	800		
	灯	接地端子箱	床上 ~ 中心	500	
		呼出しメカ(多機能1化用)	床上 ~ 中心	900、400 (各1個)	
		壁付1x1φ(観機)	床上 ~ 中心	1,300	
		壁付1x1φ(観機)	床上 ~ 中心	1,100	
		(玄関用機)			
		廊下表示灯(従来メカ付)	床上 ~ 中心	1,300	
		1x1φ(車椅子用)	床上 ~ 中心	1,100	
		2x2φ(車椅子用)	床上 ~ 中心	900	
		動力	集合保安装置	天井 ~ 上端	200
			端子盤(廊下、室内)	床上 ~ 下端	300
端子盤(EPSなど)			床上 ~ 中心	1,500 (上限1,900以下)	
壁付電話機			床上 ~ 中心	1,300	
壁付1x1φ(一般)			床上 ~ 中心	300	
壁付1x1φ(和室)			床上 ~ 中心	150	
時計			壁掛形親時計	床上 ~ 中心	1,500 (上限1,900以下)
	壁付子時計		床上 ~ 中心	天井高 x 0.9	
	壁付形2x1φ(一般)		床上 ~ 中心	天井高 x 0.9	
	壁付形2x1φ(和室)		床上 ~ 中心	1,300	
	表示器表示盤		床上 ~ 中心	天井高 x 0.9	
	壁付発信機		床上 ~ 中心	1,300	
	メカ、メカ付(一般)		床上 ~ 中心	2,300	
	メカ、メカ付(一般)		床上 ~ 中心	1,300	
	メカ、メカ付(観機)		床上 ~ 中心	1,400	
	メカ、メカ付(一般)	床上 ~ 中心	約1,350		
	メカ、メカ付(一般)	床上 ~ 中心	1,300		
	壁付1x1φ(一般)	床上 ~ 中心	1,300		
	壁付1x1φ(和室)	床上 ~ 中心	200		
	機器収容箱	天井 ~ 上端	1,500 (上限1,900以下)		
	ホウ	メカ、メカ付(一般)	床上 ~ 中心	300	
メカ、メカ付(和室)		床上 ~ 中心	150		
受信機		床上 ~ 操作部	800 ~ 1,500		
受信機		床上 ~ 操作部	800 ~ 1,500		
機器収容箱		床上 ~ 操作部	800 ~ 1,500		
発信機		床上 ~ 操作部	800 ~ 1,500		
表示灯		床上 ~ 中心	2,100		
警告メカ		床上 ~ 中心	2,300		
液化石油ガス用		床上 ~ 上端	300		
ガス用(軽質)		天井 ~ 上端	150		
ガス用(重質)		天井 ~ 上端	300		
火災		機器収容箱	床上 ~ 中心	1,500 (上限1,900以下)	
		メカ、メカ付(一般)	床上 ~ 中心	300	
		メカ、メカ付(和室)	床上 ~ 中心	150	
		受信機	床上 ~ 操作部	800 ~ 1,500	
	受信機	床上 ~ 操作部	800 ~ 1,500		
	機器収容箱	床上 ~ 操作部	800 ~ 1,500		
	発信機	床上 ~ 操作部	800 ~ 1,500		
	表示灯	床上 ~ 中心	2,100		
	警告メカ	床上 ~ 中心	2,300		
	液化石油ガス用	床上 ~ 上端	300		
	ガス用(軽質)	天井 ~ 上端	150		
	ガス用(重質)	天井 ~ 上端	300		

注) 天井高3,000mm以上の場合及び上取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。



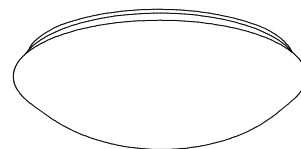

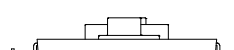
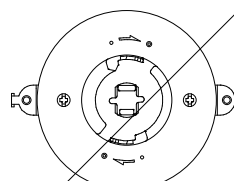
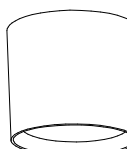
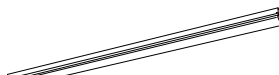

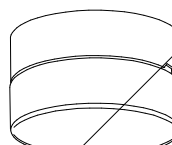



小沢団地 案内図




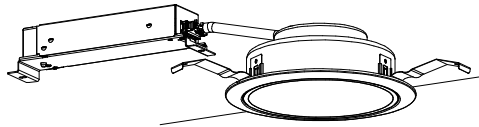

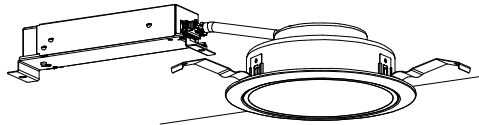
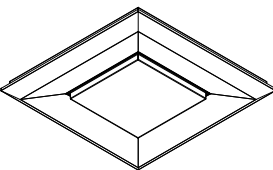
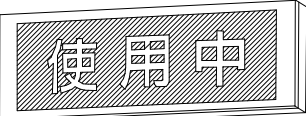
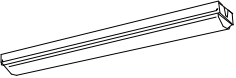
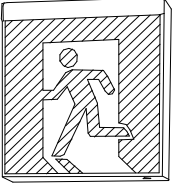
小沢団地 配置図

参考改修後照明器具姿図（住戸）

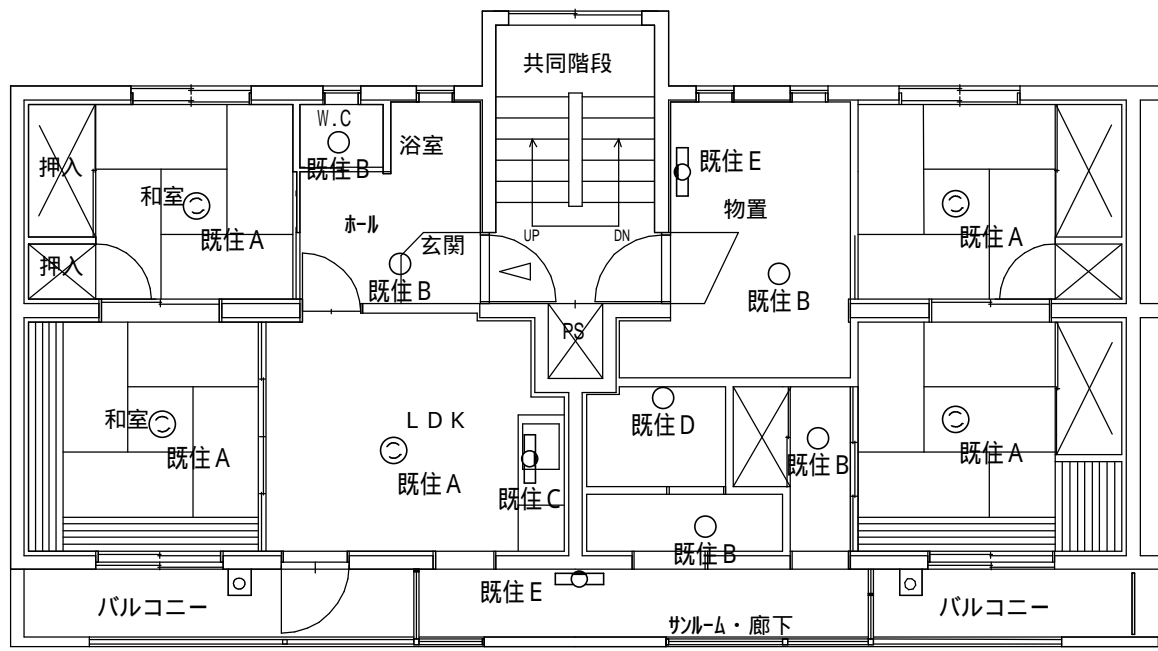
住 A	LEDシーリングライト	25VA以下	住 F	LEDシーリングライト	30VA以下		
玄関・ホール・洗面所			DK				
 <p>昼白色 器具光束2550lm以上、電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型 カバー：アクリル（乳白）、（ホワイト仕上）</p>			 <p>昼光色、/電球色 器具光束3600lm以上、電圧100V カバー：アクリル（乳白つや消し） リモコン送信機同梱</p>				
住 B	LEDブラケット	天井取付可能型 6.0VA以下	住 G	コンセント付引掛埋込ローゼット （ミルキーホワイト）（フル端子・送り端子付）			
浴室			  <p>電球色 器具光束3500lm以上、電圧100V 防湿型・防雨型、ネジ込み方式、天井直付型・壁直付型 カバー：アクリル（乳白）、プラスチック（ホワイト）</p> <table><tr><td>定 格</td><td>6 A 125 V</td></tr></table>			定 格	6 A 125 V
定 格	6 A 125 V						
住 C	小型シーリングライト	10VA以下	住 H	LEDベースライト20形 直付天井灯 （LSS1・2・15LN）	15VA以下		
トイレ・物置			外壁側廊下				
 <p>昼白色 器具光束700lm以上、電圧100V 天井直付型、拡散タイプ プラスチック（ホワイト）</p>							
住 D	LEDミラーライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当	15VA以下	住 I	LED シーリングライト	10VA以下		
洗面化粧台			風除室・外壁				
 <p>昼白色 器具光束1000lm以上、電圧100V 天井直付型・壁直付型 カバー：プラスチック（乳白） プルスイッチ付、拡散タイプ</p>			 <p>昼白色 器具光束4000lm以上、電圧100V 天井直付型・壁直付型、防雨型、ネジ込み方式 プラスチック（ホワイト）、カバー：アクリル（乳白）</p>				
住 E	LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当	15VA以下					
台所							
 <p>昼白色 器具光束1000lm以上、電圧100V 天井直付型・壁直付型、コンセント付 カバー：プラスチック（乳白） スイッチ付、両面化粧タイプ</p>							

引掛けシーリングについての注記  
引掛けシーリングの更新に伴い入居者の照明器具がある場合、  
既存照明器具の取外し・再取付は施工業者が行う。

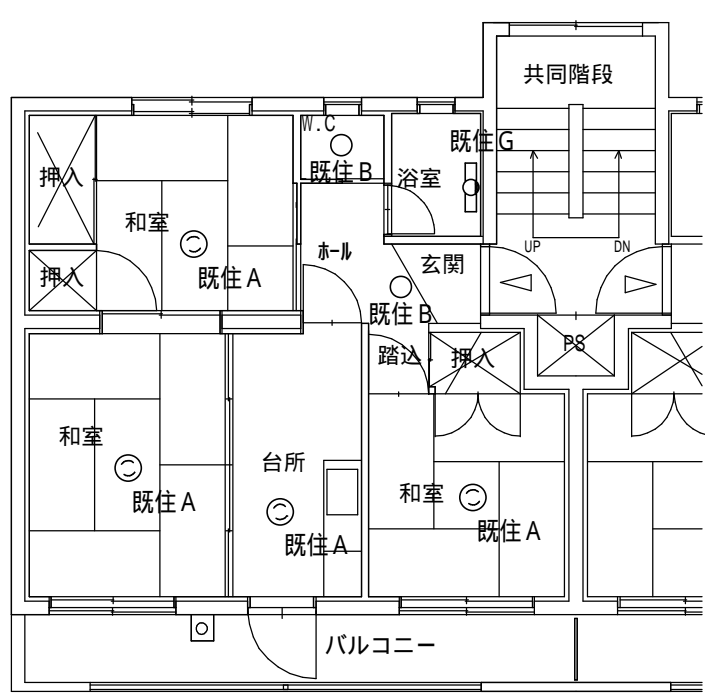
参考改修後照明器具姿図（集会場）

集会 A	LEDベースペンダント 100VA以下	集会 E	LEDダウンライト （LRS1-08LN） 10VA以下
 <p>拡散タイプ 器具光束：10000lm以上、電圧：100-242V 本体：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）、レンズ：アクリル（透明） フランジ：プラスチック（ホワイト）、セード：アクリル（乳白） 天井直付型、セード径：400以上</p>			
集会 B	LEDベースペンダント 55VA以下	集会 F	LEDダウンライト （LRS1-13LN） 10VA以下
 <p>拡散タイプ 器具光束：5000lm以上、電圧：100-242V 本体：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）、レンズ：アクリル（透明） フランジ：プラスチック（ホワイト）、セード：アクリル（乳白） 天井直付型、セード径：400以上</p>			
集会 C	LEDスクエアベースライト 直付天井灯 （LSS15-4-80LN） 155VA以下	集会 G	LED6W 標示灯 10.0VA以下
		 <p>昼白色 壁取付 プラスチック（ホワイト）</p>	
集会 D	LEDスクエアベースライト 直付天井灯 （LSS1-2-15LN） 15VA以下	集会 H	LED天井付避難口誘導灯 片面C級 非常電源内蔵型 （SH1-FSE20-C）
		 <p>点検用リモコンを1台納入</p>	

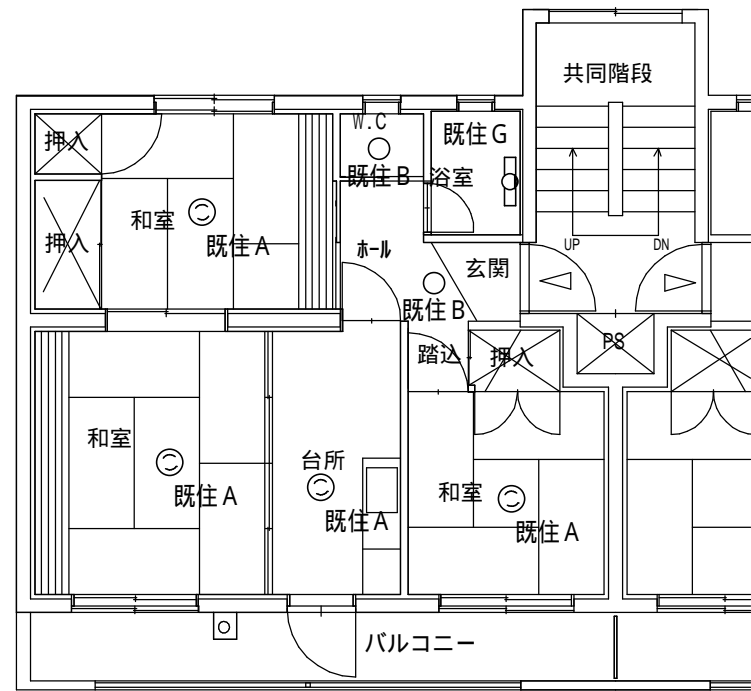




種別 タイプC  
小沢団地 住戸詳細図 ( 4 L D K )  
( A , B号棟 )

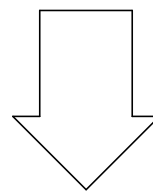


種別 タイプD  
小沢団地 住戸詳細図 ( 3 K )  
( C , D , F号棟 )

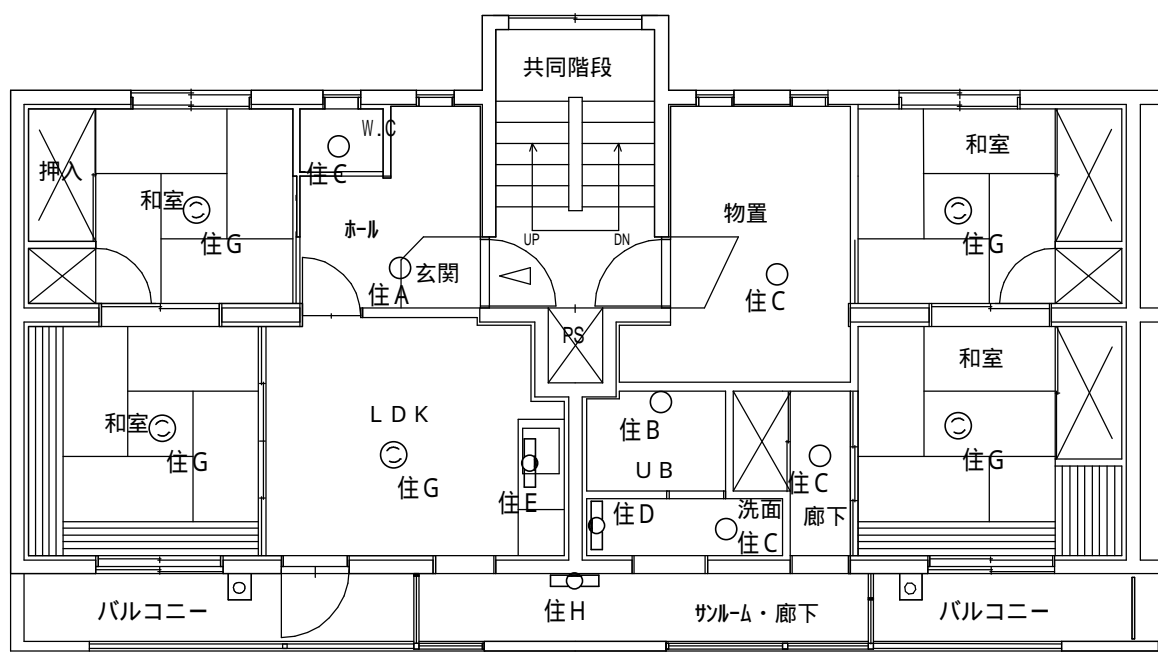


種別 タイプE  
小沢団地 住戸詳細図 ( 3 K )  
( E , G号棟 )

撤去器具仕様

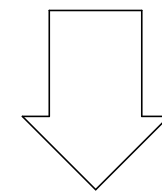


改修後器具仕様

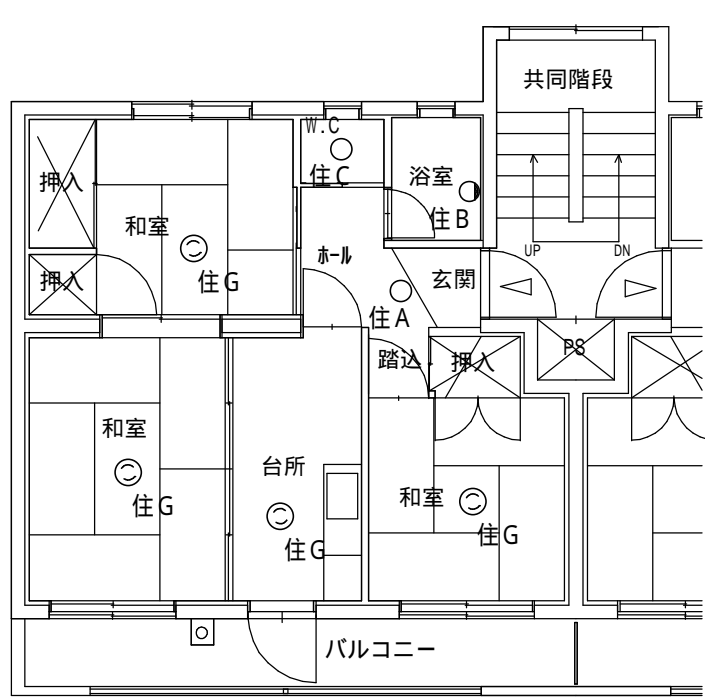


種別 タイプC  
小沢団地 住戸詳細図 ( 4 L D K )  
( A , B号棟 )

撤去器具仕様

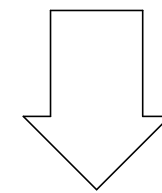


改修後器具仕様

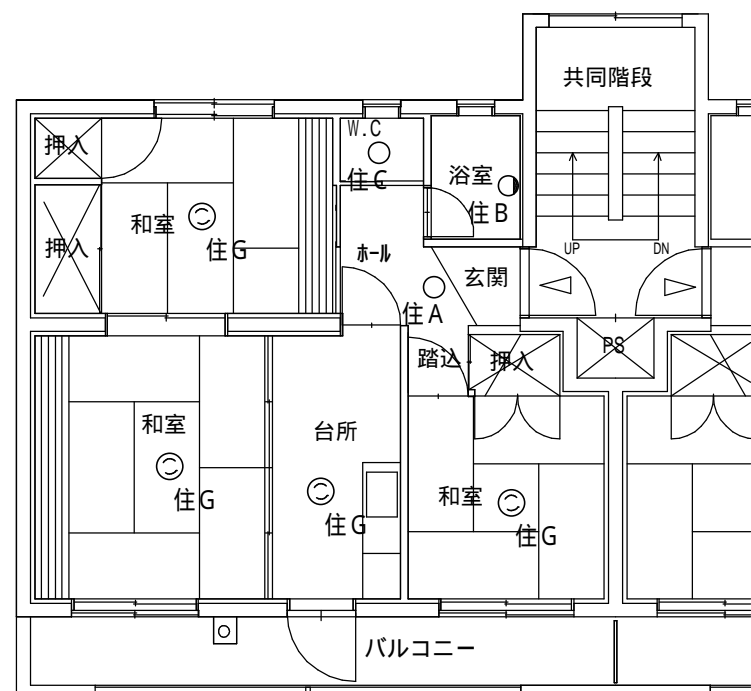


種別 タイプD  
小沢団地 住戸詳細図 ( 3 K )  
( C , D , F号棟 )

撤去器具仕様

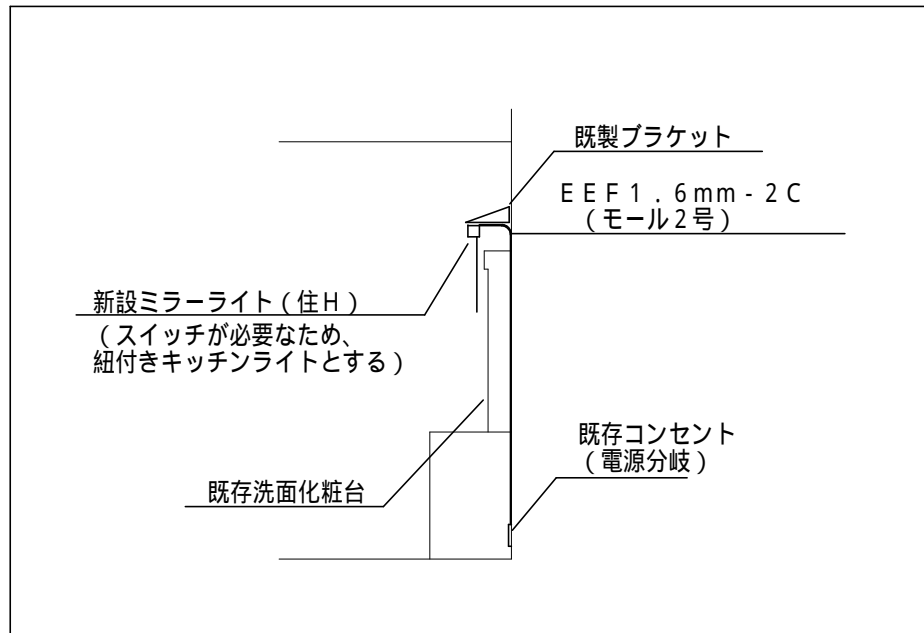


改修後器具仕様



種別 タイプE  
小沢団地 住戸詳細図 ( 3 K )  
( E , G号棟 )

#### 洗面化粧台用照明器具参考取付図



#### 洗面化粧台の照明についての注記

- ・上記の取付図は参考とし、各住戸毎に調整を行う
- ・設置箇所は洗面化粧台上部壁面とし、光源が既設化粧台に達しないようにブラケット等を用いて壁面から持ち出し行い設置を行う。  
参考型番 ネグロス製 B K L 2 0 (銅板製・メーカー塗装品) ・ 2 個
- ・電源については、既存洗面化粧台用コンセントを利用し電源を分岐を行う。  
1箇所当たり  
想定ケーブル E E F 1 - 6 - 2 C 2 . 0 m  
保護モール ワイヤプロテクタ 2号 2 . 0 m  
(既存洗面化粧台の照明は利用不可とする)

藤本電気設計株式会社

青森市桂木4丁目3番地の10 TEL 017(752)8075  
FAX 017(752)8095

建築設備士  
藤本 裕二  
資格

県営住宅 (小沢団地) A~C棟他照明設備その他改修工事

撤去・改修 住戸詳細図

SCALE A1 1:100 A3 1:200

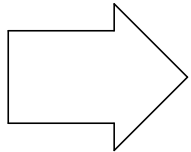
DATE 2025.12

住戸照明設置台数										
棟名	住戸タイプ	種別	住戸数	既存A 引掛ローゼット	既存B 白熱シーリング	既存C F L 2 0 W・1 キッチンライト	既存D 白熱ブラケット 防水形（浴室）	既存E F L 2 0 W・1 露出形	既存F 白熱ブラケット 防水形（ボーチ用）	既存G F L 2 0 W・1 防水形（浴室）
A号棟	4 L D K	C	1 2 住戸	5 ( 6 0 )	5 ( 6 0 )	1 ( 1 2 )	1 ( 1 2 )	2 ( 2 4 )		
B号棟	4 L D K	C	1 2 住戸	5 ( 6 0 )	5 ( 6 0 )	1 ( 1 2 )	1 ( 1 2 )	2 ( 2 4 )		
C号棟	3 K	D	2 4 住戸	4 ( 9 6 )	2 ( 4 8 )					1 ( 2 4 )
D号棟	3 K	D	2 4 住戸	4 ( 9 6 )	2 ( 4 8 )					1 ( 2 4 )
E号棟	3 K	D	1 6 住戸	4 ( 6 4 )	2 ( 3 2 )					1 ( 1 6 )
F号棟	3 K	E	2 4 住戸	4 ( 9 6 )	2 ( 4 8 )					1 ( 2 4 )
G号棟	3 K	E	1 6 住戸	4 ( 6 4 )	2 ( 3 2 )					1 ( 1 6 )

注記：（ ）内の数値は棟毎の台数を示す。

引掛けシーリングについての注記  
引掛けシーリングの更新に伴い入居者の照明器具がある場合、  
既存照明器具の取外し・再取付は施工業者が行う。

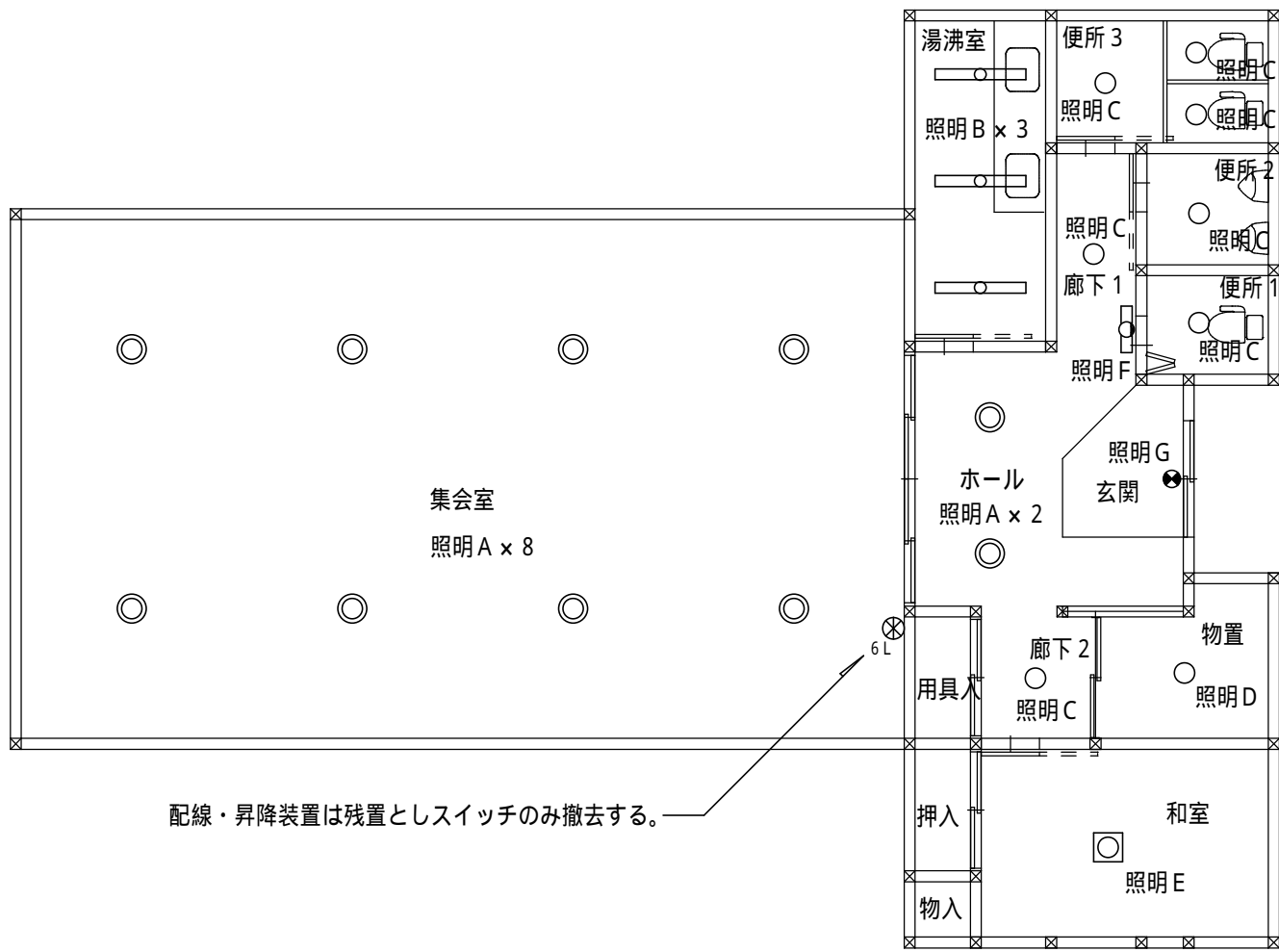
撤去器具仕様・台数



改修後器具仕様・台数

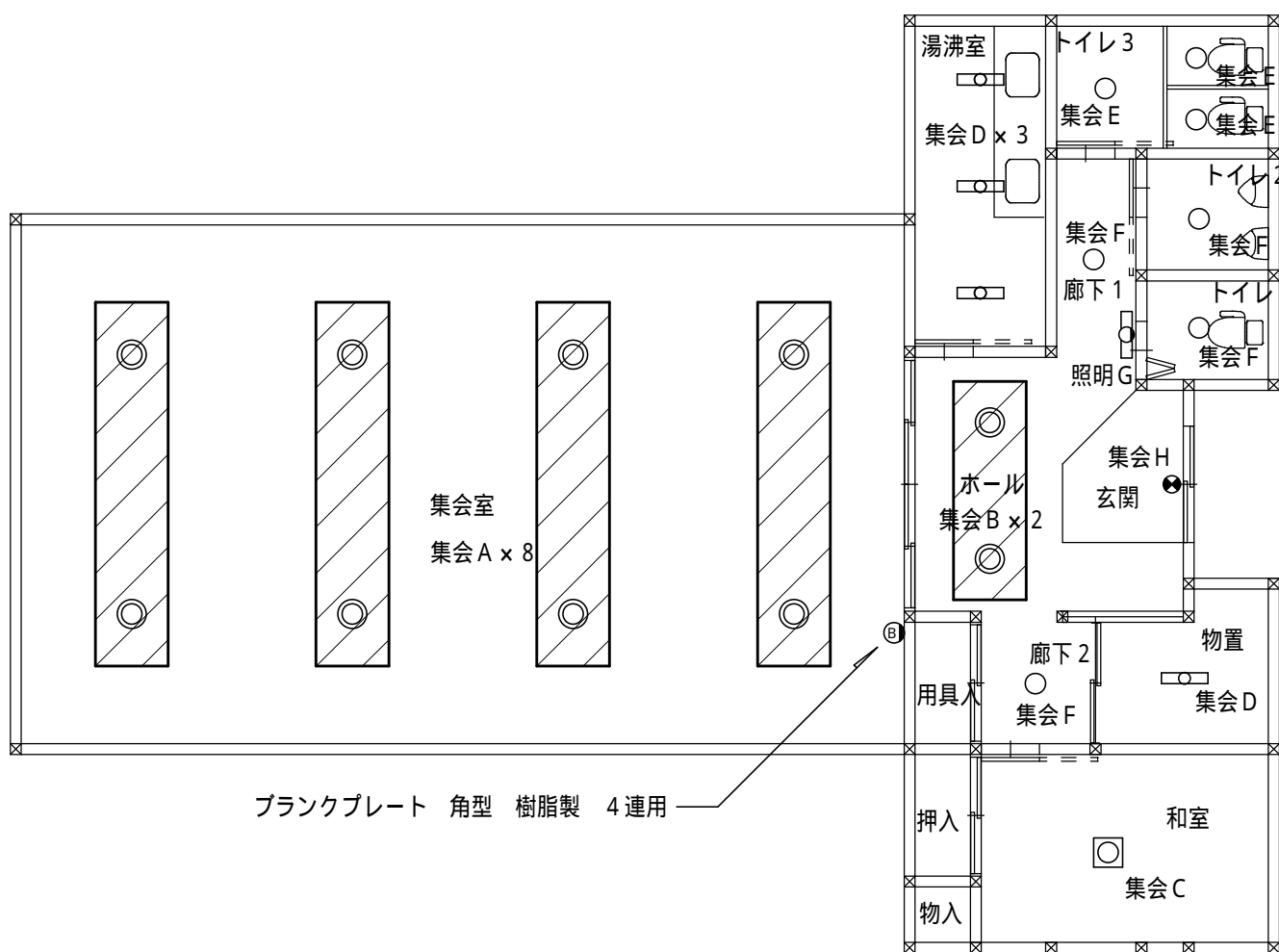
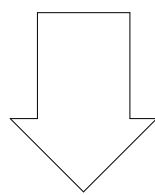
住戸照明設置台数											
棟名	住戸タイプ	種別	住戸数	住A LED（玄関・ ホール・洗面所） シーリングライト	住B LED（浴室） ブラケットライト	住C LED（トイレ） シーリングライト	住D LED キッチンライト	住E LED ミラーライト	住G 引掛ローゼット	住H LED ベースライト20形 直付	住I LED（防水） ブラケットライト
A号棟	4LDK	C	12住戸	1 (12)	1 (12)	4 (48)	1 (12)	1 (12)	5 (60)	1 (12)	
B号棟	4LDK	C	12住戸	1 (12)	1 (12)	4 (48)	1 (12)	1 (12)	5 (60)	1 (12)	
C号棟	3K	D	24住戸	1 (24)	1 (24)	1 (24)			4 (96)		
D号棟	3K	D	24住戸	1 (24)	1 (24)	1 (24)			4 (96)		
E号棟	3K	D	16住戸	1 (16)	1 (16)	1 (16)			4 (64)		
F号棟	3K	E	24住戸	1 (24)	1 (24)	1 (24)			4 (96)		
G号棟	3K	E	16住戸	1 (16)	1 (16)	1 (16)			4 (64)		

注記：（ ）内の数値は棟毎の台数を示す。



配線・昇降装置は残置としスイッチのみ撤去する。

小沢団地 集会場 S = 1 / 1 0 0



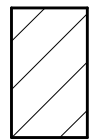
プランクプレート 角型 樹脂製 4連用

小沢団地 集会場 S = 1 / 1 0 0

撤去機器凡例	
図記号	名 称
	A 高天井吊ペンダント FPL42Wx4
	B FL40Wx1 露出型(トラフ形)
	C ILダウンライトライト
	D ILシーリングライト 露出形
	E FCL30Wx2 和室用シーリング
	F 使用中ライト FL10W-1 露出形
	G 避難口誘導灯 C形 壁付
	L 高天井用昇降スイッチ 6回路

参考改修後照明器具姿図（集会場）

集会A	LEDベースペンダント 100VA以下	集会E	LEDダウンライト (LRS1-08LN) 10VA以下		
  拡散タイプ 器具光束：10000lm以上、電圧：100・242V 本体：アルミダイカスト（ホワイท์つや消し仕上）、レンズ：アクリル（透明） フランジ：プラスチック（ホワイท์）、セード：アクリル（乳白） 天井直付型、セード径：400以上		  拡散タイプ 器具光束：5000lm以上、電圧：100・242V 本体：アルミダイカスト（ホワイท์つや消し仕上）、レンズ：アクリル（透明） フランジ：プラスチック（ホワイท์）、セード：アクリル（乳白） 天井直付型、セード径：400以上			
集会B	LEDベースペンダント 55VA以下	集会F	LEDダウンライト (LRS1-13LN) 10VA以下		
  拡散タイプ 器具光束：5000lm以上、電圧：100・242V 本体：アルミダイカスト（ホワイท์つや消し仕上）、レンズ：アクリル（透明） フランジ：プラスチック（ホワイท์）、セード：アクリル（乳白） 天井直付型、セード径：400以上		  拡散タイプ 器具光束：5000lm以上、電圧：100・242V 本体：アルミダイカスト（ホワイท์つや消し仕上）、レンズ：アクリル（透明） フランジ：プラスチック（ホワイท์）、セード：アクリル（乳白） 天井直付型、セード径：400以上			
集会C	LEDスクエアベースライト 直付天井灯 (LSS15-4-80LN) 155VA以下	集会G	LED6W 標示灯 10.0VA以下		
  拡散タイプ 器具光束：5000lm以上、電圧：100・242V 本体：アルミダイカスト（ホワイท์つや消し仕上）、レンズ：アクリル（透明） フランジ：プラスチック（ホワイท์）、セード：アクリル（乳白） 天井直付型、セード径：400以上		  拡散タイプ 器具光束：5000lm以上、電圧：100・242V 本体：アルミダイカスト（ホワイท์つや消し仕上）、レンズ：アクリル（透明） フランジ：プラスチック（ホワイท์）、セード：アクリル（乳白） 天井直付型、セード径：400以上			
集会D	LEDスクエアベースライト 直付天井灯 (LSS1-2-15LN) 15VA以下	集会H	LED天井付避難口誘導灯 片面C板 非常電源内蔵型 (SH1-FSE20-C)		
  拡散タイプ 器具光束：5000lm以上、電圧：100・242V 本体：アルミダイカスト（ホワイท์つや消し仕上）、レンズ：アクリル（透明） フランジ：プラスチック（ホワイท์）、セード：アクリル（乳白） 天井直付型、セード径：400以上		  拡散タイプ 器具光束：5000lm以上、電圧：100・242V 本体：アルミダイカスト（ホワイท์つや消し仕上）、レンズ：アクリル（透明） フランジ：プラスチック（ホワイท์）、セード：アクリル（乳白） 天井直付型、セード径：400以上		点検用リモコンを1台納入	



内部仕上足場箇所 2.3.0m2 3日  
(階高4.5m超 5.0m未満)

【住宅用火災警報器 更新個数一覧】

【小沢団地（中層）】

棟名	更新住戸数 撤去住戸数	間取り	1戸当たり 更新個数	更新個数	撤去個数	備考 (撤去のみ)	ストロボライト付 補助警報 装置
A	10	4DK	4	40	48	3-3, 4-2	
	12						
B	7	4DK	4	28	48	3-1, 3-2, 3-3, 4-2, 4-3	
	12						
C	20	3 K	3	60	72	3-1, 3-2, 4-1, 4-6	
	24						
D	17	3 K	3	51	72	3-1, 3-3, 3-4, 4-1, 4-2, 4-5, 4-6	
	24						
E	11	3 K	3	33	48	3-1, 3-3, 3-4, 4-1, 4-2, 4-5, 4-6	
	16						
F	18	3 K	3	54	72	3-2, 3-3, 3-4, 3-6, 4-2, 4-4	
	24						
G	12	3 K	3	36	48	3-3, 3-4, 4-2, 4-3	
	16						
合計	—	—	—	302	408		

【機器仕様】

名 称	住宅用火災警報器
標準要求仕様	・リチウム電池で寿命は約１０年とする
	・警報停止ボタン又は引き紐付きとする
	・電池切れ・故障等の異常警報付きとする
	・単独式（非連動式）とする
	・感知方式は煙式（光電式２種）とする
	・日本消防検定協会の住宅用防災警報器の検定合格表示があるものとする
	・取付場所は寝室天井面とする

名 称	ストロボライト付補助警報装置
定格電圧	AC100V
定格電流	最大150mA以下
入力定格	DC25V以下
ストロボ光度	15cd～30cd ２段階切替有り
点滅周期	約1H z
ブザー容量	約90dB/m 連続音
付 属 品	ACアダプタ（AC100V→DC24V）

工事内容

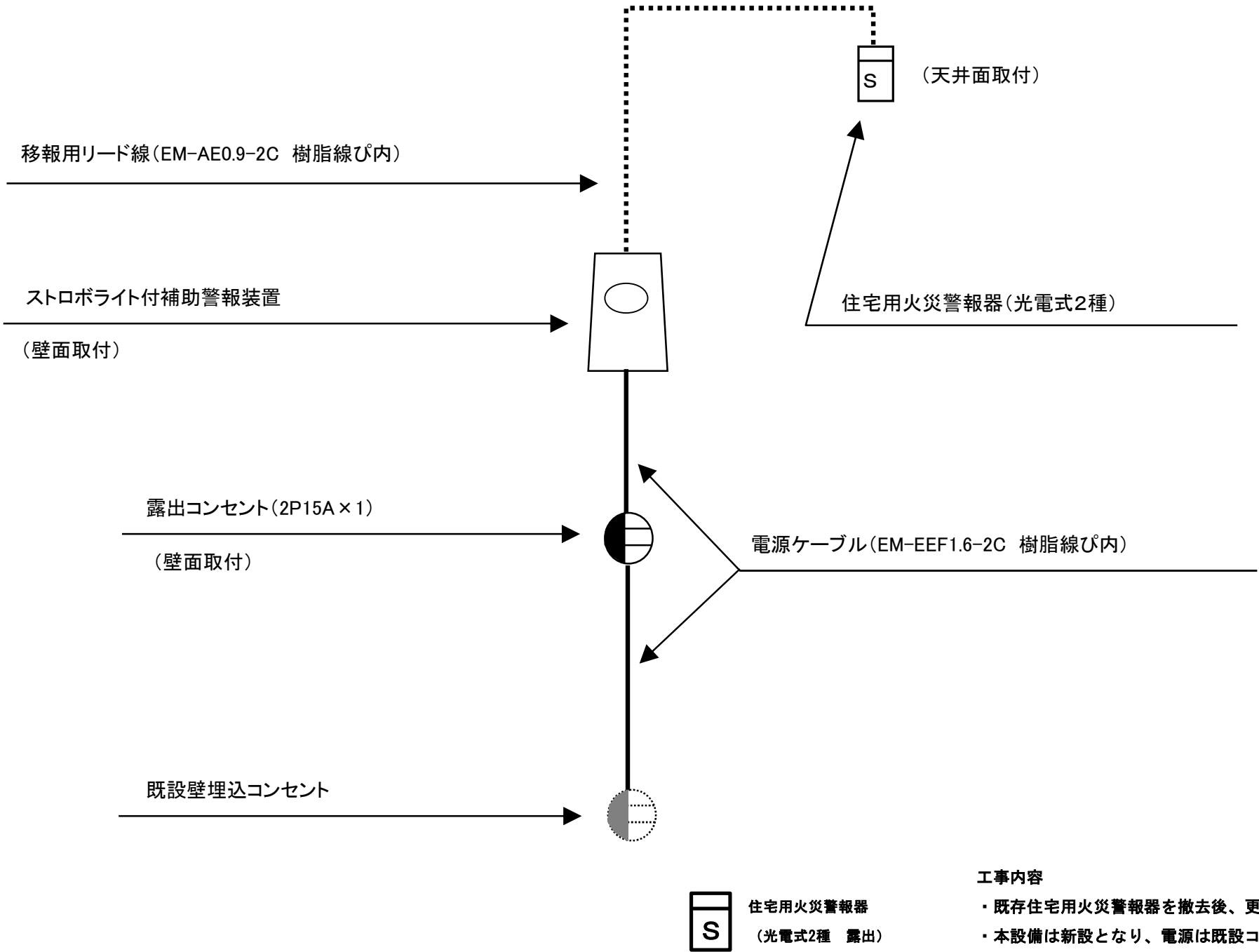
- ・既存住宅用火災警報器を撤去後、新設する。
- ・取付後、入居者に対し取扱説明書を配布し、説明を行う。

住宅用火災警報器	302 個を更新とする。
ストロボライト付補助警報装置	0 個を更新とする。
既存機器	408 個を撤去とする。

	青森県中南県土整備事務所 建築指導課	担当	縮尺  NON	工事名	図面番号
				県営住宅（小沢団地）A～G棟他照明設備その他改修工事	
				住宅用火災警報器取替箇所リスト・機器仕様	E-07



【ストロボライト付補助警報装置系統図（参考）】



- 工事内容
- ・既存住宅用火災警報器を撤去後、更新する。
  - ・本設備は新設となり、電源は既設コンセント回路から分岐するものとする。
  - ・取付後、入居者に対し取扱説明書を配布し、説明を行う。